



学校だより

令和6年度 7月号

令和6年 6月28日発行
東京都立足立特別支援学校長

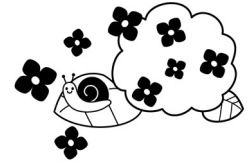
鈴木 常 義

〒121-0061 東京都足立区花畑 7-23-15

電話 03-3850-6066 (代表)

「自立」に向けて

進路指導部主任 朝倉敏文



6月の例年になく暑さの中、普通科・職能開発科とも1学期の現場実習がスタートしました。そんな現場実習の巡回指導の合間に、二人の卒業生の卒業後の生活を垣間見ることができました。

その①

卒業してこの4月で丸2年。飲食関係に就職したこの卒業生は、今年2月に葛飾区の京成線「お花茶屋駅」から歩いて10分のところにある『葛飾通勤寮』に入寮しました。通勤寮とは、一般就労している人が、3年間の入寮によって社会生活を身に付け、自立に向けた訓練を行う場所です。入寮した当初は慣れない新生活の緊張の中で、仕事に向かう気持ちも落ち込み、3月に職場訪問に出向いた時には、活気のない仕事ぶりに今後の成り行きを心配したものでした。入寮して三か月後のこの6月、通勤寮の担当者に同行してもらい職場訪問をすると、通勤寮の生活にも慣れ、気軽に話せる仲間もでき、仕事に向かう姿勢も積極的になったようで、チョットずつですが仕事もスキルアップ。

少しずつでいいから仕事の職域を広げていくこと、それと併せて、卒寮後（通勤寮は原則3年間で卒業）の自分に合ったグループホームを見つけること、そんな自立に向けての歩みが今後の目標となっていくことでしょう。

その②

その日最初の巡回指導から次の巡回指導に向かう途中のJR北千住駅で、前任校を11年前に卒業した卒業生のお母様と、ばったり出くわしました。懐かしさで話が弾み、いろいろ話す中で、卒業生の卒業後の生活を知ることができました。その卒業生は特別支援学校を卒業後、生活介護の通所施設に通い始めました。卒業した二年後、二十歳になったのをきっかけにグループホームに入り、そこから通所施設に通うようになったそうです。金曜日の夜にはヘルパーの移動支援を利用して実家に帰ってお母様の手料理を堪能し、2泊して日曜日のお昼にはまたヘルパーさんとグループホームに帰るといって毎日を送っているようです。ニコニコしながらヘルパーさんと家路に向かう彼の明るい表情が目につかぶようでした。



本校では、卒業後の「自立」に向けた以下の取り組みを予定しています。

- ・8月2日(金)：『葛飾通勤寮』見学会（2,3年生保護者対象）[本校進路指導部主催]
 - ・10月下旬：足立区内のグループホーム見学会（全校保護者対象）[本校PTA進路対策部主催]
- ※詳細は別途お知らせいたします。

以上の取り組みをとおして、生徒の卒業後の「自立」を考える良いきっかけになればと思います。多くの保護者の参加をお待ちしております。